

公表

事業所における自己評価総括表

放課後デイサービス

○事業所名	OZデイしゅうなん 放課後デイサービス		
○保護者評価実施期間	R8 年 1 月 2 0 日		R8 年 1 月 3 1 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	R8 年 1 月 2 0 日		R8 年 1 月 3 1 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R8 年 2 月 1 0 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児の受け入れに関して積極的に行なっている。	看護職員以外のスタッフによる医療的ケアの実施。 看護職員の採用強化。 NICUや小児科救急病院との連携。 放課後の入浴サービス	スタッフの確保と知識・技術の向上。 入浴に関しては学年が上がると、利用者様の体格が大きくなり、必要性が増すのに対し、下校時間が遅くなるため、施設での入浴が難しくなる。重症度の高い利用者様に関しては、ご家族や学校と相談し、何を優先して支援するか、優先順位を決めることが大切になってくる。スタッフの負担を減らすため、設備の充実や動線の確保など一層、対策が必要。
2	理学療法士による施術がある。	放課後デイの場合は、授業があるときは時間が短いため、主に土曜日や長期の休みを利用して行う。他のフランチャイズとの情報共有を行い、重心児リハに慣れていないスタッフも知識やアドバイスを得て、自信を持って施術できる、	病院での施術の様子を見学させてもらっている。長期休業以外は施術が難しい場合もある。
3	送迎サービス	遠方は田布施町～周南市(旧新南陽市)まで幅広い範囲をカバーしており、柔軟な送迎を行なっている。この度は送迎車や運転手の採用により、手厚く、きめ細やかな対応が可能になった。	保護者様。ご利用者様の負担軽減を図るよう、努力いたします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	計画的な保育活動	医療的ケアがあり体調が不安定なこと、体位や特性上、制限が多く、保育活動のバリエーションが少ない。	他の事業所との情報共有。保護者からの希望を通して、活動の幅を広げていきたい。
2	送迎で出入りが多く、安全確保が課題。また従業員の負担感が大きい	送迎で出入りが多く、その時間に人手が減る。	パート採用で、不足しがちな時間帯の増員を図る。
3	低学年は入浴サービスを利用できていうが、学年が上がると下校が遅くなると、利用の時間が短くなり、安全面、ご本人の体力的な問題があり。入浴が難しい。	自宅で入浴ができない重心児に関して、人工呼吸器を使用している方、気管切開があり、入浴に関して十分な注意が必要な方に関しては、学校を早退して来所していただくこともある。親御さんには十分に理解していただいております、学校にも協力していただいております。	家庭での入浴ができるよう、訪問看護の利用等進めていく。そもそも自宅が手狭、きょうだいさんがいてご家族が忙しいなど、さまざまな理由で自宅で入浴ができない事例がある。また学校が終わってからの訪問看護は、時間が遅く時間外対応となる場合がある。ご家族や学校と相談しながら、優先すべきことを整理し、柔軟に対応していきたい。